

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	友生小学校教室増築事業	会計	01	一般会計
基本	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
策		31	項目	03
11		細目	105	
11	教育環境の整備	細々目	03	
基本計画該当頁		128		行革大綱の重点事項番号
4				
担当部課	コード	450100	評価者	奥井平和
名称	教育部教育総務課	氏名	連絡先	22 - 9675 (内線) 3810

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
友生小学校児童 (対象件数)	学級あたりの児童数が適正化され、教育環境が確保される。
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 19 年度
終了年度	平成 20 年度
本年度事業内容	教室の空きスペースを利用し、2教室を増築し、防音用間仕切りを設置する。20年度にはプレハブ型校舎8教室を建築する。
状況変化等	

整備内容

1 建設用地	友生小学校
2 建設面積(延床面積)	未定
3 規模・構造	プレハブ構造2階建て
4 総事業費	160,000 千円

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	()
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	新規	単独	事業類型	施設の建設	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
事業の進捗率	児童の増加に対応するため計画通り事業を進める。	%	目標	目標	50	100
			実績	実績		
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	校舎建築時の児童数増予測を上回る急激な児童数の増加が続き、既存校舎内での対応は19年度で限界となる。さらに、20年度以降毎年2教室程度の教室が不足する予想である。この増加傾向は今後、10年以上は継続する見込みのため、校舎内の改造を含めた10教室程度の増築は必要。
有効性	4	19年度の教室増改築にあわせ、天井部分の仕切りをつけることで騒音遮断になる。また、追加教室を8乃至10増設することで、2から3年間は特別教室として当面は利用可能となる
達成度		
効率性	4	運動場を増築予定場所とすることで、工期の短縮、造成費の削減が図れる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容		平成18年度 決算内容		平成19年度 計画内容		平成20年度 計画内容		平成21年度 計画内容		平成22年度 計画内容					
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
委託	18				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
	19							設計業務委託料	10,000			施設整備工事費	150,000				
工事	20							施設整備工事費	30,000			初度備品	10,000				
進捗率 (%)		50	100					事業費計(A)	40,000			事業費計(A)	160,000			事業費計(A)	0
事業投入人員		人件費(B)	人	0	人件費(B)	人	0	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	人
フルコスト (A)+(B)				0			0		43,600						163,600		0

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	0	40,000	160,000	0	0
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	0	28,500	142,500		
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	0	0	11,500	17,500	0
	計	0	0	40,000	160,000	0
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率		合併特例債	合併特例債		
	地方債の区分と充当率等					